

「賢材塾」とは

少数精鋭

講義だけでなくグループワークでより効率的・実践的に

合宿型

講師、参加者と寝食を共有し、講師陣の人格にまで触れる機会

交流

業種の異なる仲間たちと交流し、新たな人脈を形成



交通アクセス

- 公共交通機関の場合
JR多治見駅から東鉄バスにて15~30分
「研究学園都市センター」下車徒歩1分
- タクシー
JR多治見駅から約15分、土岐市駅から約20分
- 自動車利用の場合
東海環状自動車道の土岐南多治見I.C.を下りて
「下石・妻木・小原・国道363号方面」に約5分

お申し込み・お問い合わせ

- ◆お申し込み方法 / 同封の申し込み用紙を郵送、またはFAXにてお申し込みください。
- ◆お申し込み期間 / 平成28年6月1日(水)~平成28年7月29日(金)
- ◆募集定員 / 20名(申込先着順、定員になり次第締め切ります)
- ◆受講費用 / 6万円(宿泊代・懇親会費・交流会費を含み、食費は含みません)
- ◆お支払い方法 / 銀行振込(受講者に別途連絡いたします)

賢材塾事務局(一般社団法人 岐阜県工業会)
〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1丁目1番地
TEL 058-385-4315 FAX 058-385-4316
E-MAIL: info@industry-gifu.or.jp URL: http://www.industry-gifu.or.jp

第12回 次世代技術経営者育成セミナー



参加者募集

「賢材塾」は、技術のわかる経営者、経営のわかる技術者を育成する少数精鋭・短期集中合宿型のセミナーです。企業分析、モノづくり経営等、技術経営者に必要とされる知識・スキルを習得できます。

少数精鋭

合宿型

交流

開催日程

* 2泊3日の宿泊型研修となります。

平成28年

9/8 木 ▶ 9/10 土

開催場所

自然科学研究機構 核融合科学研究所
岐阜県土岐市下石町322-6 TEL: 0572-58-2043

宿泊場所

自然科学研究機構 核融合科学研究所
宿泊施設「ヘリコンクラブ」

主催 / 岐阜県・一般社団法人 岐阜県工業会
協力 / 自然科学研究機構 核融合科学研究所



塾長

大同大学学長 理学博士
宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 研究総括
澤岡 昭氏

1938年北海道生れ。北海道大学修士課程修了。理学博士。
東京工業大学応用セラミックス研究所所長を経て、1999年
大同大学学長に就任。1979年宇宙開発事業団、2003年
よりJAXA非常勤職員としてスペースシャトルや国際宇宙ステ
ーション計画などに参画、宇宙環境の産業利用についての推
進役を担う。

9月
8
木曜日

1
日
目

(9:30~10:45)

開講式・基調講演



「賢材塾」塾長
澤岡 昭氏

宇宙開発に学ぶ技術経営者の条件

経営者にとって必須の資質は強いリーダーシップと同時に必要に応じてチーム構成員に従うバランスのとれたフォローシップです。国際宇宙ステーションの船長に求められる資質も同様です。船長を務めた若田光一飛行士はこの点でも国際的に高い評価を受けています。「はやぶさ」プロジェクト責任者の川口淳一郎さんは技術経営者としてお手本にしたい方です。宇宙開発を例に技術経営者に求められる資質について考察します。

(11:00~14:00)

マーケティング・商品開発

新規ビジネス開発のマーケティング戦略

マーケティングは「売る技術」と考えられています。正しくはお客様と出会い、ご満足いただき、未来永劫お付き合いし続けることができる仕組みを作ることです。その仕組みづくりの基本を、持参いただいた新規ビジネスのアイデアを評価しながら学んでいただきます。

- 見込み産業と受注産業ではマーケティングはこんなに違う
- 自社の新規ビジネスのアイデアを評価する32のマーケティング視点



株式会社V字経営研究所
代表
酒井 英之氏

午前中に検討したアイデアを、より実現性の高い企画案へと仕上げするためにグループワークによって高度化します。その成果をグループ別に発表します。これにより、企画力を高めるファシリテーション力を高めます。

(14:00~17:30)

モノづくり経営戦略・プレゼン

「賢材塾」塾長等との夕食を兼ねた交流会。塾生同士の親睦を深め、人脈形成の一環に。

懇親会

9月
9
金曜日

2
日
目

(9:00~12:00)

世界経済の概況



愛知淑徳大学
ビジネス学部 学部長
教授
真田 幸光氏

混沌情勢下の企業経営

リスク対比リターンを意識した企業経営の基本について、直近の国際情勢を背景にし、具体的な現状認識と今後の対策に向けた考察を試みます。

(13:00~16:00)

経営管理論

会社を経営するとは

- 現在の経営環境
 - 現在の経営環境をきちんと認識する
 - 環境を見据えた戦略が必要
- 会社を経営するとは
 - 会社を経営する目的
 - 計画経営の必要性を理解する
 - 財務の視点で経営を見る
—管理会計による業績管理
- 中期経営計画の策定を通じて右腕を育てる
 - なぜ計画が必要かを理解する
 - 経営理念を浸透させる
 - 環境をきちんと分析する
 - 実行できる計画を作る
 - 計画を「絵に描いた餅」にしないためのポイント



アタックスグループ
パートナー
株式会社アタックス・
ビジネス・
コンサルティング
代表取締役会長
片岡 正輝氏

未来型の新しいエネルギー源、「地上の太陽」の実現を目指し、日夜研究を続ける世界最先端の施設、「核融合科学研究所」を見学します。

施設見学

9月
10
土曜日

3
日
目

(9:00~12:00)

企業分析

自社の決算書の読み方

- 決算書の本質は何か
 - 会社経営における決算書の果たす役割
 - 会社の目的と会社経営
- 会社経営に活かす決算書の見方
 - 経営の視点から見る貸借対照表
 - 経営の視点から見る損益計算書
 - 経営の視点から見るキャッシュフロー計算書
- 決算書を活用した自社の、問題点の見つけ方
 - 自社の総合力の分析
 - 売掛金・在庫は適正水準か?
 - 自社の財務安定性はどうか?
- 損益分岐点分析
 - 固定費・変動費とは何か?
 - 損益分岐点分析とは何か?
 - 活用方法



株式会社アタックス・
ビジネス・コンサルティング
公認会計士
大塩 佑氏

ケーススタディを用いたグループワーク、助言

関係者挨拶
修了証書授与

「賢材塾」塾長
澤岡 昭氏

(12:45~15:45)

事例検討

(15:45~16:15)

閉講式

*各講義の間に適宜休憩をとります。

受講者の声



第9期受講生
株式会社TYK
機械材料研究所 主任研究員
大島 智子氏

最初に講義のプログラムを目にしたとき、半日単位のカリキュラムが並び、タイトルも普段の業務・生活では縁のない分野のものが多かったので、「ついていけるだろうか…」という不安を抱えての受講となりました。

しかし、実際受講してみると、縁のない分野だと思ったカリキュラムは「新たな知識」となるものばかりでした。講師の方々のお話は興味深い内容が多く、半日単位のカリキュラムは気にならなくなりました。

実践的な内容もあり、プレゼンテーション資料作成の講義で学んだことは実務でも役立っています。受講生は県内の様々な業界の方々なので、懇親会で業務のお話をうかがうのも楽しく、様々な面で勉強になりました。



第10期受講生
株式会社 足立瓦店
取締役社長
足立 仁志氏

日頃は職人として現場での作業に追われ、あまり経営ということを考えておられない私が少々不安を抱いてのセミナーへの参加となりました。

受講してみると、今までの自分が会社を経営するという感覚に無頓着だったことに気付かされました。

うまいプレゼンテーション、経営、財務の考え方、世界情勢の現状等、私にとって目から鱗の話がいっぱいでした。少数精鋭ということもあり、異業種の方々との交流も深めることができ、多くのスキルを積み重ねることができました。私にとって賢材塾への参加は本当に勉強になりました。

今後の業務に役立てていきたいと思えます。



第11期受講生
株式会社ウイセラ
中部営業所 課長
片桐 伸昭氏

受講前は実務に直接関係がない講義もあるのではと考えておりましたが、いざ始めるとどの講義も様々な形で実務と関係しており、自分の視野の狭さに気付かされました。商品開発などのグループワークでは実践的な取り組みも体験でき、ここで学んだことは実務の場で大変役立っています。

様々な業種から集まった受講生とは共通の課題に取り組む中で一体感が生まれ、講義を離れた場でも大変充実した時間を過ごすことができました。講師の先生方は時に厳しく、私たち塾生と真剣に向き合ってください、それが今でも心に強く残っています。

これから学んだことを様々な実務の現場で活かしていきたいと思えます。

核融合科学研究所案内

1 食堂「土岐っ子」
営業時間(平日のみ)
朝 8:00~9:30
昼 11:30~13:30
夜 17:00~19:00

2 門衛所
門衛所から見た正面玄関

3 宿泊施設「ヘリコンクラブ」

4 「賢材塾」会場(受付は2F)

5 駐車場
(入構証が必要です。利用される場合は、受講申込書に記入してください。)

大型ヘリカル実験棟
図書館棟
管理棟
制御棟
超伝導マグネット研究棟
計測実験棟
工務棟